

教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

学年の目標

・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点

月	内容のまとめり	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9	世界のさまざまな地域	世界の諸地域 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州	・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 ・北アメリカ州・南アメリカ州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。	・北アメリカ州・南アメリカ州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
10	世界のさまざまな地域	世界の諸地域 ・オセアニア州	・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 ・オセアニア州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。	・オセアニア州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
11	歴史へのとびら 古代までの日本	歴史をとらえる見方・考え方 身近な地域の歴史 世界の古代文明と宗教のおこり 日本列島の誕生と大陸との交流	【歴史へのとびら】 ・日本の歴史の大きな流れや各時代の特徴に関する様々な資料を収集したり、適切に情報を読み取り、年表などにまとめている。 ・年表の表し方や、時代区分の意味や意義について理解している。 ・身近な地域の歴史について適切に資料など情報を収集し、年表などにまとめている。 【古代までの日本】 ・古代文明の特徴を、生産技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展などに着目して捉えさせる。 ・古代文明や宗教が生まれたことに加え、古代の人々の生活の変化を理解している。	【歴史へのとびら】 ・歴史的な見方・考え方「時期や年代」「推移」「現在のつながり」に着目して、小学校の学習で学習した人物や文化財、出来事などが時代区分とどのように関わるか考察し、表現している。 ・歴史的な見方・考え方「比較」「関連」や、時代的な背景や地域の環境、歴史と私たちとのつながりに着目して、身近な地域の歴史の特徴を考察し、表現している。 【古代までの日本】 ・古代文明の特徴や宗教のおこり、日本列島における人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察し表現している。 ・古代までの日本の大きな流れについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	【歴史へのとびら】 ・身近な歴史や歴史上の人物、出来事などを調べたり考えたりする活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特徴に対して見通しを持ち、課題の解決に向けて学習しようとしている。 【古代までの日本】 ・世界の古代文明や宗教のおこりへの関心を高め、古代までの日本の大きな流れに関する課題を意欲的に追究している。 ・現代に残る古代の文化遺産に関心を高め、それらを尊重しようとしている。
12	古代までの日本	古代国家の歩みと東アジア世界	・日本列島における人々の生活の変化、古代国家の形成のあらましについて、東アジアを中心とした世界の歴史を背景に理解している。 ・古代における文化の特色を、東アジアの動きと関わらせて理解している。 ・古代における国家の形成、天皇・貴族の政治の展開のあらましや文化などに関する諸資料を収集し、様々な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめている。	・古代文明の特徴や宗教のおこり、日本列島における人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察し表現している。 ・古代までの日本の大きな流れについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・世界の古代文明や宗教のおこりへの関心を高め、古代までの日本の大きな流れに関する課題を意欲的に追究している。 ・現代に残る古代の文化遺産に関心を高め、それらを尊重しようとしている。
評価方法			定期テスト、単元テスト	定期テスト、レポート、発表、グループ協議	グループ協議、発表、自由研究（レポート）

学習の進め方

〈グループ学習〉
・共有課題をしっかりと話し合い、そのうえでジャンプ課題に取り組む。
・ジャンプ課題から理解した内容を、グループ内で交流できる。
・ノートに振り返りがまとめられる。
〈家庭学習・テスト勉強〉
・社会的事象に関心をもち、授業で学習した内容との関連を見出す。
・ノートにまとめた振り返りを確認する。
・ワークで学習した範囲を復習する。
・単元のまとめテストにしっかり取り組む。
・単元テストも定期テストの範囲となるので、テスト前に復習しておく。